

令和7年10月3日
豊岡市商工会

豊岡市商工会管内企業動向調査結果

(令和7年7月～9月期実績、令和7年10月～12月期見通し)

《2》 調査対象

調査依頼先
150企業

有効回答数
134企業 (回答率89%)

業種	企業数	城崎		竹野		日高		出石		但東		回答数
		対象	回答	対象	回答	対象	回答	対象	回答	対象	回答	
製造業	27	2	2	3	2	10	8	9	8	4	4	24
建設業	26	2	2	3	2	13	13	5	3	3	3	23
小売業	33	9	9	2	2	11	9	7	7	2	2	29
飲食業	22	7	7	2	2	6	3	6	6	1	1	19
宿泊業	20	8	8	5	4	7	7	0	0	0	0	19
サービス業	22	2	2	2	2	12	11	4	3	3	2	20
合計	150	30	30	17	14	59	51	31	27	13	12	134

《3》 調査項目

- ①売上高 ②仕入単価 ③採算性 ④資金繰り ⑤景況感
⑥従業員の数 ⑦直面している経営上の問題 ⑧今後取り組んでいきたいこと
⑨原材料の不足や高騰の影響 ⑩その具体的な内容

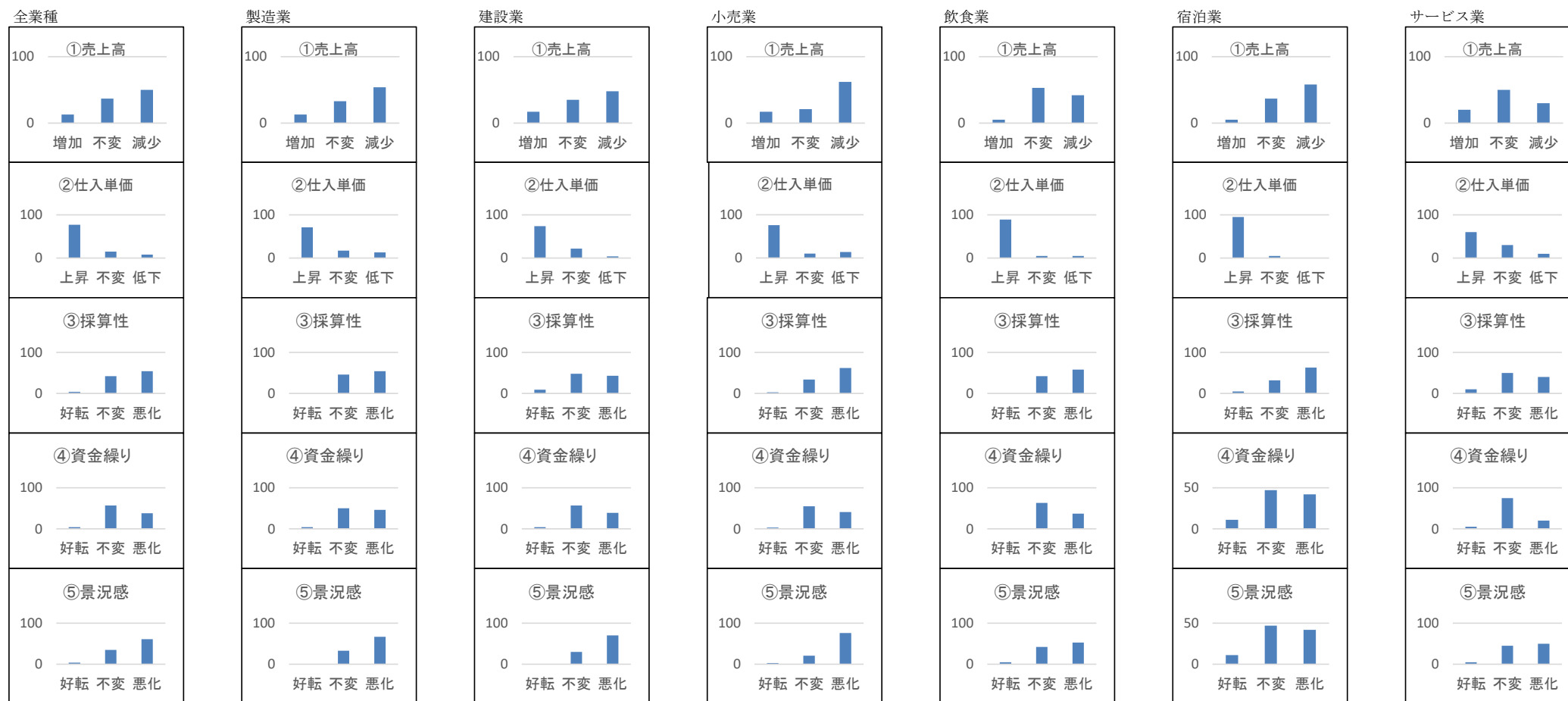
【令和7年7～9月期実績】

(1)	全業種の売上高DIは、▲28（前期▲9）となり、マイナス域が大幅に拡大した。（悪化）
	業種別売上高DIは、飲食業、宿泊業では増加し、その他の業種は減少した。
(2)	全業種の仕入単価DIは、65（前期67）と縮小した。
	業種別仕入単価DIは、宿泊業、サービス業は好転し、その他の業種は悪化した。
(3)	全業種の採算性DIは、▲45（前期▲47）となり、マイナス域が縮小した。（やや好転）
	業種別採算性DIは、建設業、小売業以外の業種は好転した。
(4)	全業種の資金繰りDIは、▲30（前期▲31）となりマイナス域が縮小した。（横ばい）
	業種別資金繰りDIは、製造業、飲食業、宿泊業では好転し、その他の業種では悪化した。
(5)	全業種の景況感DIは、▲55（前期▲42）となり、マイナス域が拡大した。（やや悪化）
	業種別の景況感DIは、宿泊業は好転し、その他の業種ではやや悪化した。

【令和7年10～12月期の見通し】

(1)	全業種の売上高DIは、▲24となりマイナス幅が縮小する見通し。（好転）
	業種別売上高DIは、製造業、飲食業では好転。その他の業種では横ばいまた低下する見通し。
(2)	全業種の仕入単価DIは、74となりやや上昇した。
	業種別仕入単価DIは、宿泊業以外において上昇する見通し。
(3)	全業種の採算単価DIは、▲43となる見通し。（やや好転）
	業種別採算性DIは、製造業、飲食業、宿泊業では好転。それ以外の業種では横ばいまたはやや悪化する見通し。
(4)	全業種の資金繰りDIは、▲32となる見通し。（悪化）
	業種別の資金繰りDIは、製造業、飲食業では好転。それ以外の業種では悪化する見通し。
(5)	全業種の景況感DIは、▲39となる見通し。（好転）
	業種別の景況感DIは、建設業は悪化。それ以外の業種では好転する見通し。

【1】前年同期比
前年同期（令和6年7月～9月）と比べた今期（令和7年7月～9月）の状況

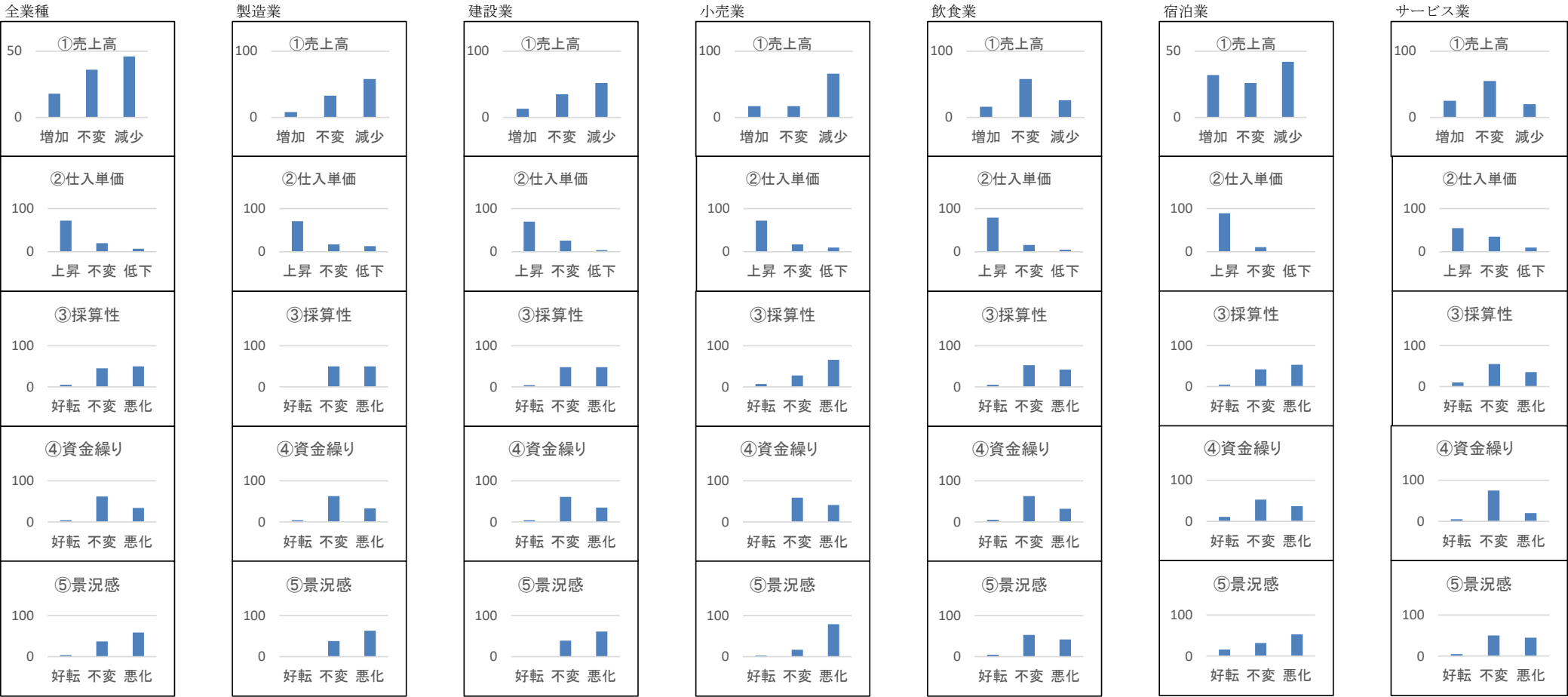


【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲ 37	▲ 41	▲ 31	▲ 45	▲ 37	▲ 53	▲ 10
仕入単価	69	58	70	62	84	95	50
採算性	▲ 50	▲ 54	▲ 34	▲ 59	▲ 58	▲ 58	▲ 30
資金繰り	▲ 34	▲ 42	▲ 35	▲ 38	▲ 37	▲ 31	▲ 15
景況感	▲ 57	▲ 67	▲ 70	▲ 73	▲ 48	▲ 31	▲ 45

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合
仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合
採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【2】前期比
前期（令和7年4月～6月）と比べた今期（令和7年7月～9月）の状況

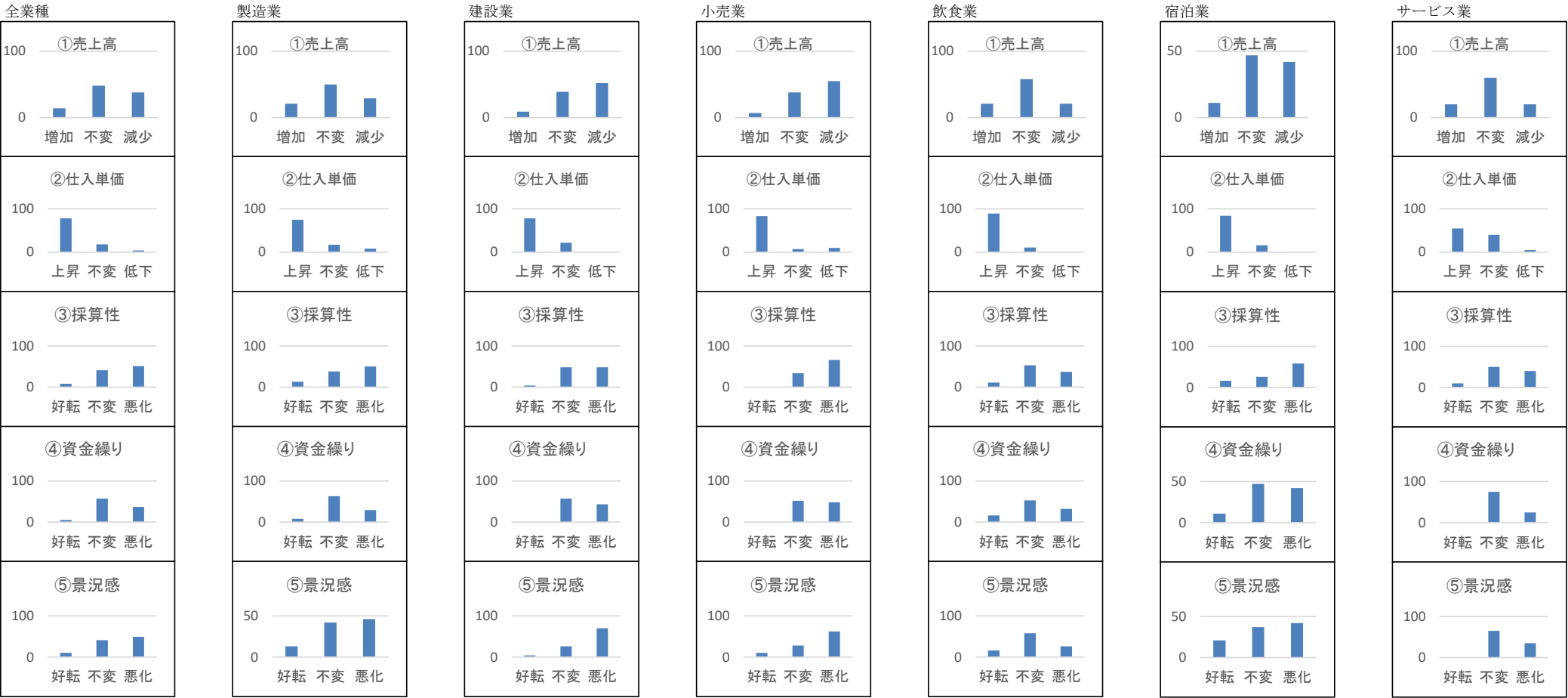


【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売 上 高	▲ 28	▲ 50	▲ 39	▲ 49	▲ 10	▲ 10	5
仕入単価	65	58	66	62	74	89	45
採 算 性	▲ 45	▲ 50	▲ 44	▲ 59	▲ 37	▲ 48	▲ 25
資金繰り	▲ 30	▲ 29	▲ 31	▲ 41	▲ 27	▲ 26	▲ 15
景 況 感	▲ 55	▲ 63	▲ 61	▲ 76	▲ 37	▲ 37	▲ 40

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合
仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合
採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【3】来期の見通し
今期（令和7年7月～9月）と比べた来期（令和7年10月～12月）の見通し

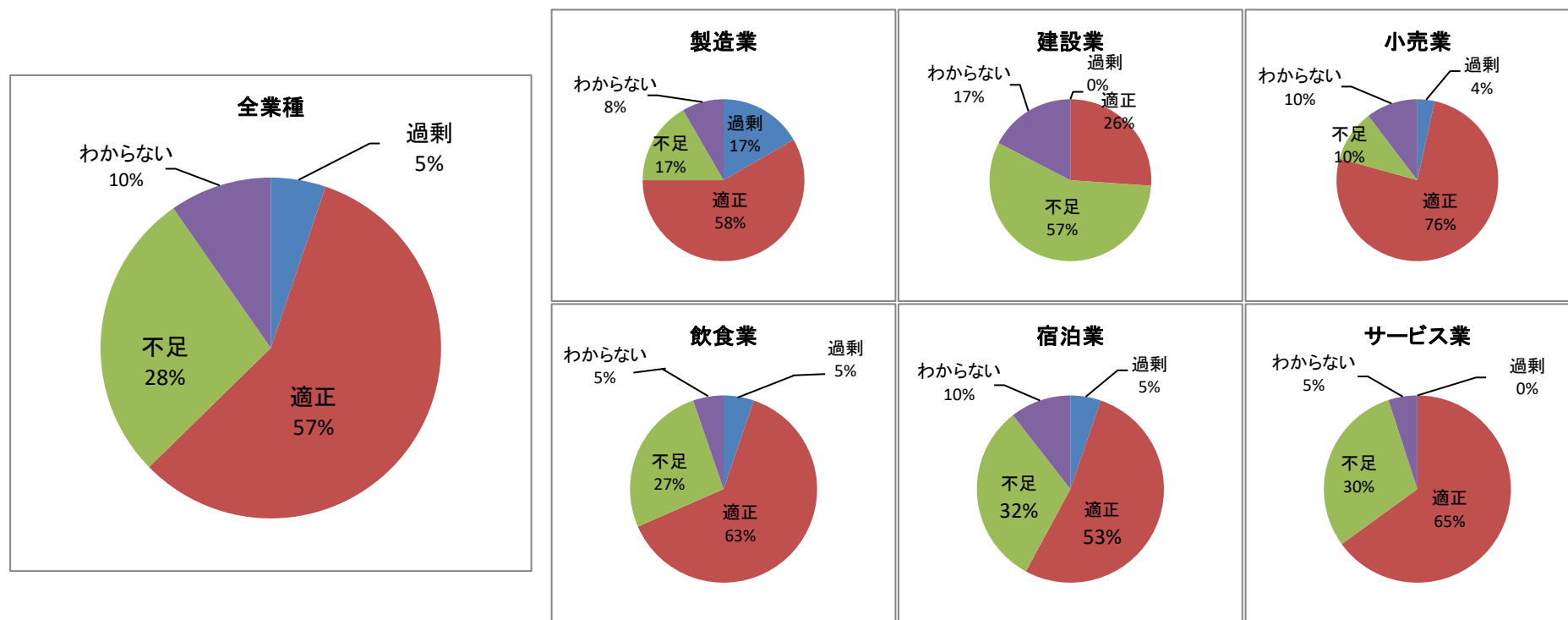


【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売 上 高	▲ 24	▲ 8	▲ 43	▲ 48	0	▲ 31	0
仕入単価	74	67	78	73	89	84	50
採 算 性	▲ 43	▲ 37	▲ 44	▲ 66	▲ 26	▲ 42	▲ 30
資金繰り	▲ 32	▲ 21	▲ 43	▲ 48	▲ 16	▲ 31	▲ 25
景 況 感	▲ 39	▲ 33	▲ 66	▲ 52	▲ 10	▲ 21	▲ 35

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合
仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合
採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【4】従業員（臨時・パート含む）の人数について



今期（R 7. 7～9月）

⑥従業員の人数（件数）	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
過剰	7	5.2%	4	16.7%	0	0.0%	1	3.4%	1	5.3%	1	5.3%	0	0.0%
適正	77	57.5%	14	58.3%	6	26.1%	22	75.9%	12	63.2%	10	52.6%	13	65.0%
不足	37	27.6%	4	16.7%	13	56.5%	3	10.3%	5	26.3%	6	31.6%	6	30.0%
わからない	13	9.7%	2	8.3%	4	17.4%	3	10.3%	1	5.3%	2	10.5%	1	5.0%
合計	134		24		23		29		19		19		20	

対前期比（R 7. 4～6月）

⑥従業員の人数（件数）	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減
過剰	4.6%	0.6	11.1%	5.6	5.0%	-5.0	3.6%	-0.2	0.0%	5.3	7.7%	-2.4	0.0%	0.0
適正	66.1%	-8.6	61.1%	-2.8	40.0%	-13.9	75.0%	0.9	81.3%	-18.1	53.8%	-1.2	85.7%	-20.7
不足	19.3%	8.3	16.7%	0.0	40.0%	16.5	10.7%	-0.4	12.5%	13.8	23.1%	8.5	14.3%	15.7
わからない	10.1%	-0.4	11.1%	-2.8	15.0%	2.4	10.7%	-0.4	6.3%	-1.0	15.4%	14.3	0.0%	5.0

【実績】

全業種でみると、従業員の人数は「適正」と回答した経営者が最も多く全体の57.5%を占める。次いで「不足」と回答した経営者は、27.6%である。対前期比では、「適正」が8.6ポイント減、「不足」は8.3ポイント増、という結果となった。

（製造業）「適正」と回答した経営者が58.3%（対前期比2.8ポイント減、「不足」が16.7%（対前期比ポイント増減なし）となった。

（建設業）「適正」と回答した経営者が26.1%（対前期比13.9ポイント減）、「不足」は56.5%（対前期比16.5ポイント増）と全業種においても最も多い結果となった。

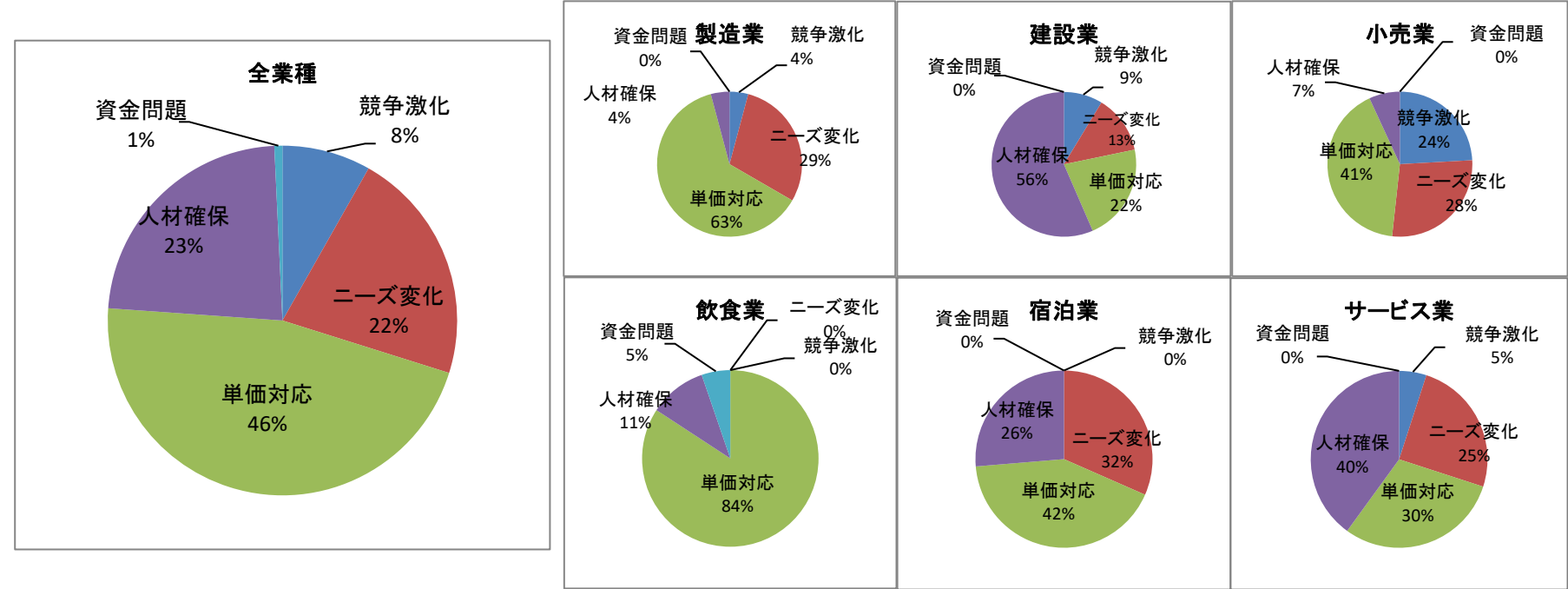
（小売業）「適正」と回答した経営者が75.9%（対前期比0.9ポイント増）と全業種において最も多く、「不足」は10.3%（対前期比4ポイント減）となった。

（飲食業）「適正」と回答した経営者が63.2%（対前期比18.1ポイント減）、「不足」が26.3%（対前期比13.8ポイント増）となった。

（宿泊業）「適正」と回答した経営者が52.6%（対前期比1.2ポイント減）、「不足」は31.6%（対前期比8.5ポイント増）となった。

（サービス業）「適正」と回答した経営者が65.0%（対前期比20.7ポイント減）、「不足」は30.0%（対前期比15.7ポイント増）となった。

【5】直面している経営上の問題点について



今期（R 7. 7～9 月）

⑦直面している経営上の問題点	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	
大手企業（大型店）進出、インターネット普及による販売競争の激化	11	8. 2%	1	4. 2%	2	8. 7%	7	24. 1%	0	0. 0%	0	0. 0%	1	5. 0%	競争激化
消費者（製品）ニーズ変化への対応	29	21. 6%	7	29. 2%	3	13. 0%	8	27. 6%	0	0. 0%	6	31. 6%	5	25. 0%	ニーズ変化
仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下	62	46. 3%	15	62. 5%	5	21. 7%	12	41. 4%	16	84. 2%	8	42. 1%	6	30. 0%	単価対応
必要な人材の雇用確保	31	23. 1%	1	4. 2%	13	56. 5%	2	6. 9%	2	10. 5%	5	26. 3%	8	40. 0%	人材確保
事業資金の借入難	1	0. 7%	0	0. 0%	0	0. 0%	0	0. 0%	1	5. 3%	0	0. 0%	0	0. 0%	資金問題
合計	134		24		23		29		19		19		20		

対前期比（Ｒ７．４～６月）

⑦直面している経営上の問題点	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	
大手企業（大型店）進出、インターネット普及による販売競争の激化	10.1%	-1.9	0.0%	4.2	10.0%	-1.3	32.1%	-8.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	5.0	競争激化
消費者（製品）ニーズ変化への対応	24.8%	-3.2	38.9%	-9.7	5.0%	8.0	28.6%	-1.0	18.8%	-18.8	30.8%	0.8	28.6%	-3.6	ニーズ変化
仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下	45.0%	1.3	50.0%	12.5	45.0%	-23.3	35.7%	5.7	56.3%	27.9	46.2%	-4.1	42.9%	-12.9	単価対応
必要な人材の雇用確保	18.3%	4.8	5.6%	-1.4	40.0%	16.5	3.6%	3.3	18.8%	-8.3	23.1%	3.2	28.6%	11.4	人材確保
事業資金の借入難	1.8%	-1.1	5.6%	-5.6	0.0%	0.0	0.0%	0.0	6.3%	-1.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	資金問題

【実績】

全業種でみると「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」を認識する経営者が引き続き最も多く46.3%（対前期比1.3ポイント増）の割合となった。次いで、「必要な人材の雇用確保」、「消費者（製品）ニーズ変化への対応」の順で多かった。

（製造業）「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が62.5%で最も高く、対前期比では12.5ポイント増加した。次いで「消費者（製品）ニーズ変化への対応」が29.2%、対前期比9.7ポイント減少した。

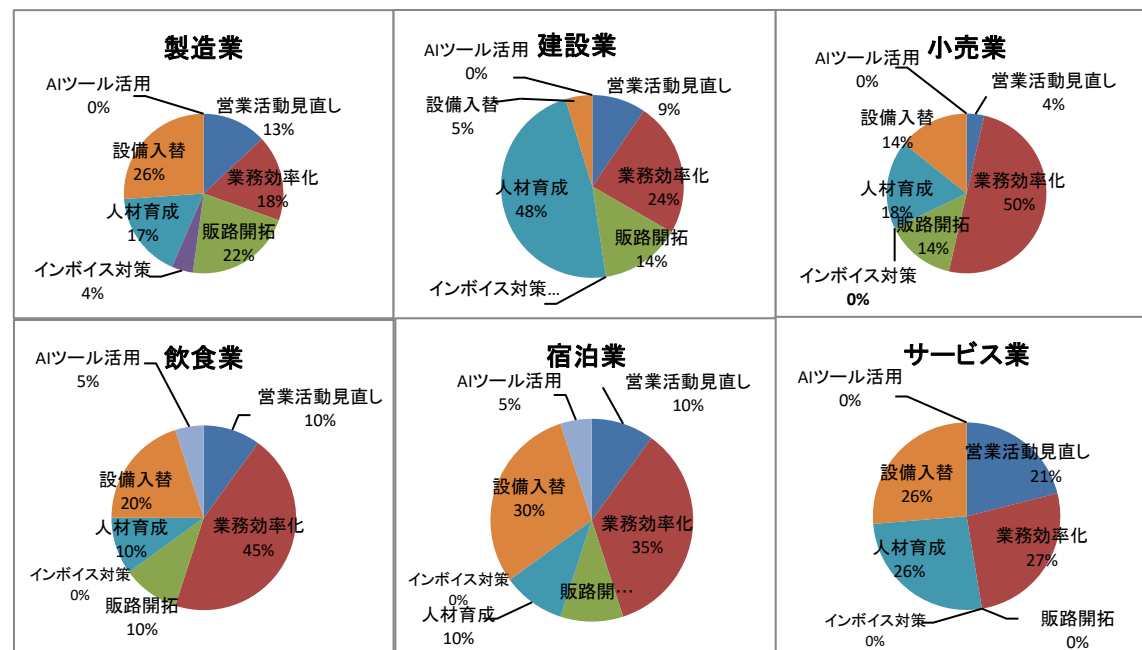
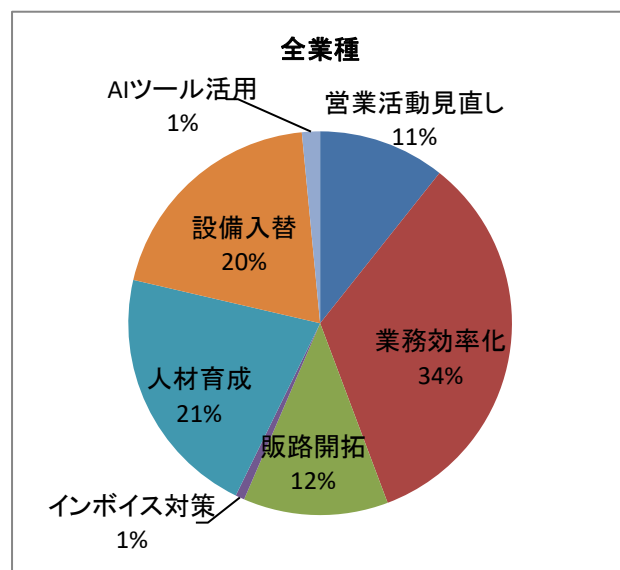
（建設業）「必要な人材の雇用確保」が56.5%で最も高く、対前期比では16.5ポイント増加した。次いで「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が21.7%、対前期比23.3ポイント減少した。

（小売業）「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が41.4%で最も高く、対前期比では5.7ポイント増加した。次いで「消費者（製品）ニーズ変化への対応」が27.6%、対前期比1.0ポイント減少した。

（飲食業）「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が84.2%で最も高く、対前期比では27.9ポイント増加した。次いで「必要な人材の雇用確保」が10.5%、対前期比8.3ポイント減少した。

（宿泊業）「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が42.1%で最も高く、対前期比では4.1ポイント減少した。次いで「消費者（製品）ニーズ変化への対応」が31.6%、対前期比0.8ポイント増加した。

【6】今後、取り組んでいきたいこと



今期（R 7. 7～9月）

⑧今後、取り組んでいきたいこと	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	
既存顧客のリスト化、営業活動の見直し	14	10. 7%	3	13. 0%	2	9. 5%	1	3. 6%	2	10. 5%	2	10. 5%	4	21. 1%	営業活動見直し
業務の効率化、仕事の見える化	44	33. 6%	4	17. 4%	5	23. 8%	14	50. 0%	9	47. 4%	7	36. 8%	5	26. 3%	業務効率化
販路開拓（商談会・展示会・プレスリリース等）	16	12. 2%	5	21. 7%	3	14. 3%	4	14. 3%	2	10. 5%	2	10. 5%	0	0. 0%	販路開拓
インボイス制度対策、会計管理の見直し	1	0. 8%	1	4. 3%	0	0. 0%	0	0. 0%	0	0. 0%	0	0. 0%	0	0. 0%	インボイス対策
人材育成、社員教育	28	21. 4%	4	17. 4%	10	47. 6%	5	17. 9%	2	10. 5%	2	10. 5%	5	26. 3%	人材育成
設備の入替・更新	26	19. 8%	6	26. 1%	1	4. 8%	4	14. 3%	4	21. 1%	6	31. 6%	5	26. 3%	設備入替
Chat GPTなどのAIツールの活用	2	1. 5%	0	0. 0%	0	0. 0%	0	0. 0%	1	5. 3%	1	5. 3%	0	0. 0%	AIツール活用
合計	131		23		21		28		19		19		19		

対前期比（R 7. 4～6月）

⑧今後、取り組んでいきたいこと	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	
既存顧客のリスト化、営業活動の見直し	10.7%	0.0	0.0%	13.0	11.8%	-2.3	22.2%	-18.6	0.0%	10.5	7.7%	2.8	15.4%	5.7	営業活動見直し
業務の効率化、仕事の見える化	29.1%	4.5	29.4%	-12.0	11.8%	12.0	33.3%	16.7	50.0%	-2.6	23.1%	13.7	30.8%	-4.5	業務効率化
販路開拓（商談会・展示会・プレスリリース等）	15.5%	-3.3	23.5%	-1.8	11.8%	2.5	14.8%	-0.5	21.4%	-10.9	15.4%	-4.9	7.7%	-7.7	販路開拓
インボイス制度対策、会計管理の見直し	2.9%	-2.1	11.8%	-7.5	0.0%	0.0	3.7%	-3.7	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	インボイス対策
人材育成、社員教育	17.5%	3.9	11.8%	5.6	41.2%	6.4	7.4%	10.5	7.1%	3.4	15.4%	-4.9	30.8%	-4.5	人材育成
設備の入替・更新	22.3%	-2.5	23.5%	2.6	23.5%	-18.7	18.5%	-4.2	21.4%	-0.3	38.5%	-6.9	15.4%	10.9	設備入替
Chat GPTなどのAIツールの活用	1.9%	-0.4	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	7.1%	-1.8	7.7%	-2.4	0.0%	0.0	AIツール活用

【実績】

経営者が「今後、取り組んでいきたいこと」として全業種では、「業務の効率化、仕事の見える化」が最も高く33.6%（対前期比4.5ポイント増）の割合となった。
次いで、「人材育成、社員教育」、「設備の入替・更新」の順で高かった。

（製造業）「設備の入替・更新」が26.1%で最も高く、対前期比では2.6ポイント増加した。
次いで「販路開拓（商談会・展示会・プレスリリース等）」が21.7%、対前期比1.8ポイント減少した。

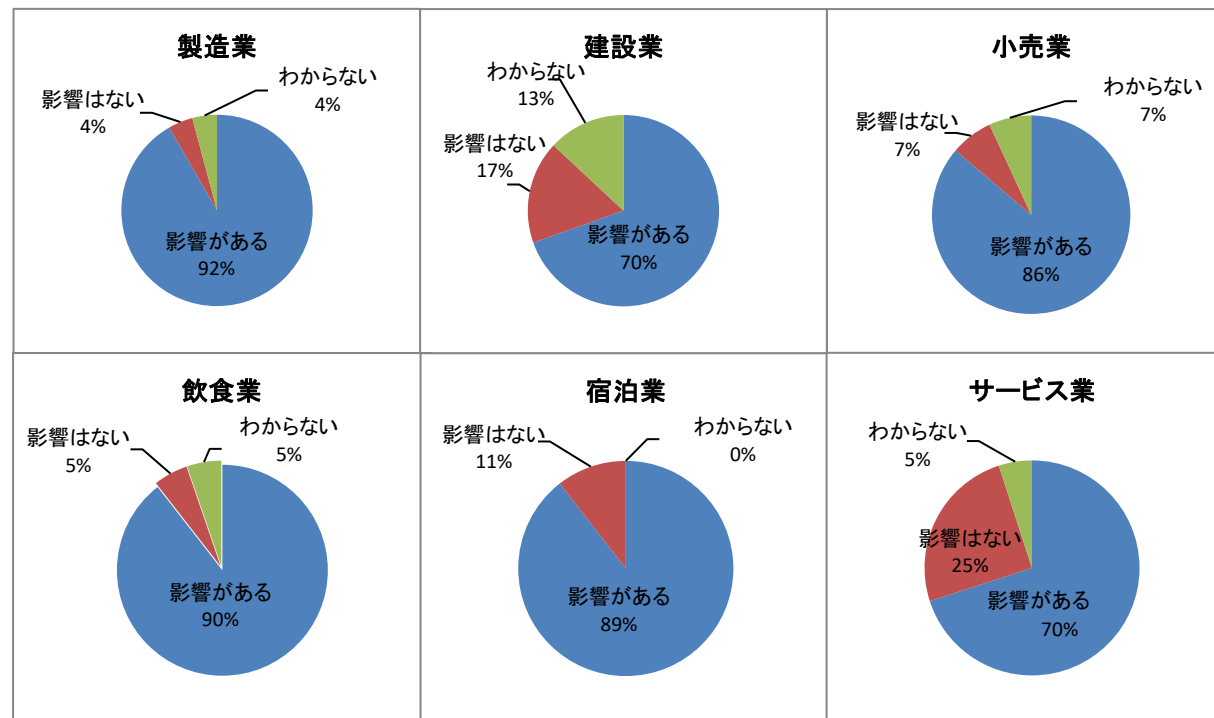
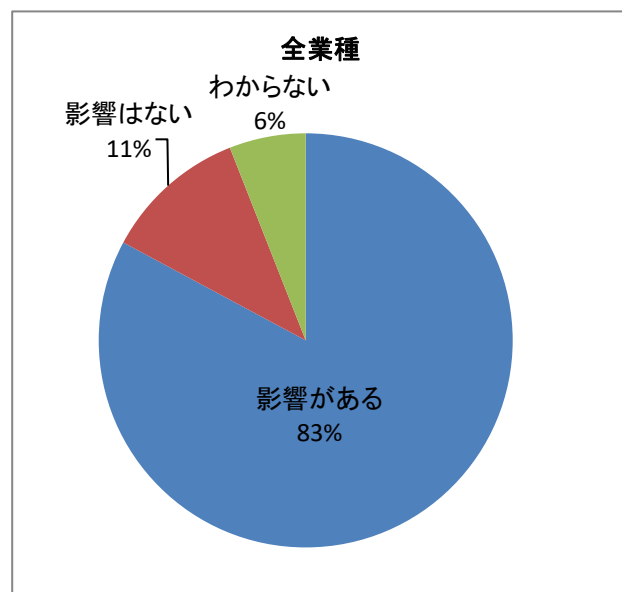
（建設業）「人材育成、社員教育」が47.6%で最も高く、対前期比では6.4ポイント増加した。
次いで「業務の効率化、仕事の見える化」が23.8%、対前期比12.0ポイント増加した。

（小売業）「業務の効率化、仕事の見える化」が50.0%で最も高く、対前期比では16.7ポイント増加した。
次いで「人材育成、社員教育」が17.9%、対前期比10.5ポイント増加した。

（飲食業）「業務の効率化、仕事の見える化」が47.4%で最も高く、対前期比では2.6ポイント減少した。
次いで「設備の入替・更新」が21.1%、対前期比0.3ポイント減少した。

（宿泊業）「業務の効率化、仕事の見える化」が36.8%で最も高く、対前期比では13.7ポイント増加した。
次いで「設備の入替・更新」が31.6%、対前期比6.9ポイント減少した。

【7】 自社の主な商品・サービスにおいて原材料の不足や高騰の影響はありますか？



今期（R 7. 7～9月）

⑨原材料の不足や高騰の影響はありますか？	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	
影響がある	111	82. 8%	22	91. 7%	16	69. 6%	25	86. 2%	17	89. 5%	17	89. 5%	14	70. 0%	影響がある
影響はない	15	11. 2%	1	4. 2%	4	17. 4%	2	6. 9%	1	5. 3%	2	10. 5%	5	25. 0%	影響はない
わからない	8	6. 0%	1	4. 2%	3	13. 0%	2	6. 9%	1	5. 3%	0	0. 0%	1	5. 0%	わからない
合計	134		24		23		29		19		19		20		

対前期比（R 7. 4～6月）

⑨原材料の不足や高騰の影響はありますか？	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減
影響がある	84. 4%	-1. 6	88. 9%	2. 8	65. 0%	4. 6	89. 3%	-3. 1	93. 8%	-4. 3	84. 6%	4. 9	85. 7%	-15. 7
影響はない	8. 3%	2. 9	11. 1%	-6. 9	15. 0%	2. 4	3. 6%	3. 3	0. 0%	5. 3	15. 4%	-4. 9	7. 1%	17. 9
わからない	7. 3%	-1. 3	0. 0%	4. 2	20. 0%	-7. 0	7. 1%	-0. 2	6. 3%	-1. 0	0. 0%	0. 0	9. 5%	-4. 5

【実績】

全業種でみると、「影響がある」と回答した経営者の割合は、82.8%と大半を占めている。（対前期比1.6ポイント減少）

（製造業）「影響がある」と回答した経営者は、91.7%であった。（対前期比2.8ポイント増加）

（建設業）「影響がある」と回答した経営者は、69.6%であった。（対前期比4.6ポイント増加）

（小売業）「影響がある」と回答した経営者は、86.2%であった。（対前期比3.1ポイント減少）

（飲食業）「影響がある」と回答した経営者は、89.5%であった。（対前期比4.3ポイント減少）

（宿泊業）「影響がある」と回答した経営者は、89.5%であった。（対前期比4.9ポイント増加）

（サービス業）「影響がある」と回答した経営者は、70.0%であった。（対前期比15.7ポイント減少）

【８】 自社の主な商品・サービスにおいて原材料の不足や高騰について、影響の有無に関わらず、前回調査時と比較したときの状況の変化
(参考：ポストコロナ、原油価格・物価高騰、円安、ゼロゼロ融資の状況、インボイスの状況等)

1	米をはじめ、あらゆる物の高騰が大きく激しい。（飲食業・城崎）
2	仕入れ単価の上昇（飲食業・城崎）
3	物価高騰、万博により売上低下（小売業・城崎）
4	万博や猛暑、全ての価格上昇により観光客が大幅に減少し経営が厳しくなっている状況である。（小売業・城崎）
5	大阪万博が１０月１３日まで開催であり、開催期間中の売上は多い月で２０％近く前年より減少した。加えて材料、光熱費の上昇により粗利益も減少している。さらに８月と１１月からの繁忙期に備えた人材確保により、人手不足が過剰になっていたことも否めない。アフター万博のご利用人数の回復を祈りたい。（宿泊業・城崎）
6	物価高騰（宿泊業・城崎）
7	万博の影響なのか、夏場の観光客が少なかった印象がある。また、一般消費者の買い控え感もある。それにより売上減少となっており、また物価高騰、賃金上昇が大きな影響となっている。（製造業・竹野）
8	材料費等の高止まりと人件費、外注費、外注労務費もこの期間にも上がっている。（建設業・竹野）

9	急激な変化はなく数年前より落ち着いてはいるが、じわじわと上がる傾向は続いており、先を見据えた販売&価格戦略を講じていく必要がある。（製造業・日高）
10	景況悪化による受注量の減少。（製造業・日高）
11	トランプ関税の関係で設備関係の仕事や輸出関係の製造の仕事の引き合いが止まっている。（製造業・日高）
12	原材料高騰しているものもあり発注先の変更などで利益が残る様に努力しています。（製造業・日高）
13	若い労働力の定着が望めない（建設業・日高）
14	寝具に関していえば、原材料の高騰もあるが、様々な分野の製造工場の廃業などで、安定して製品が入ってこない。贈答品に関しても今後仕入高が続くことが予想される。（小売業・日高）
15	食材、特にコメの値上げ幅、また光熱費関係とが影響大で価格をあげるかもしくは質をさげるかしないと維持できません。さらには人件費の高騰と休日とで厳しいかぎり。（宿泊業・日高）
16	物価高騰（宿泊業・日高）
17	物価高騰（宿泊業・日高）
18	原油価格・物価高騰（宿泊業・日高）
19	物価高騰（宿泊業・日高）
20	物価高騰に合わせてその都度値上げは難しい（宿泊業・日高）
21	原油価格もですが、材料費や器械の価格が高騰している。（サービス業・日高）
22	未だに原油価格が上昇しており、物価高騰も収まらず、値上げが追い付かない状況。（サービス業・日高）
23	温泉営業燃料灯油価格と仕入価格の物価高騰、及び酷暑で危険な暑さを避けるため外出を避け、来場件数が極端に減少した。（サービス業・日高）

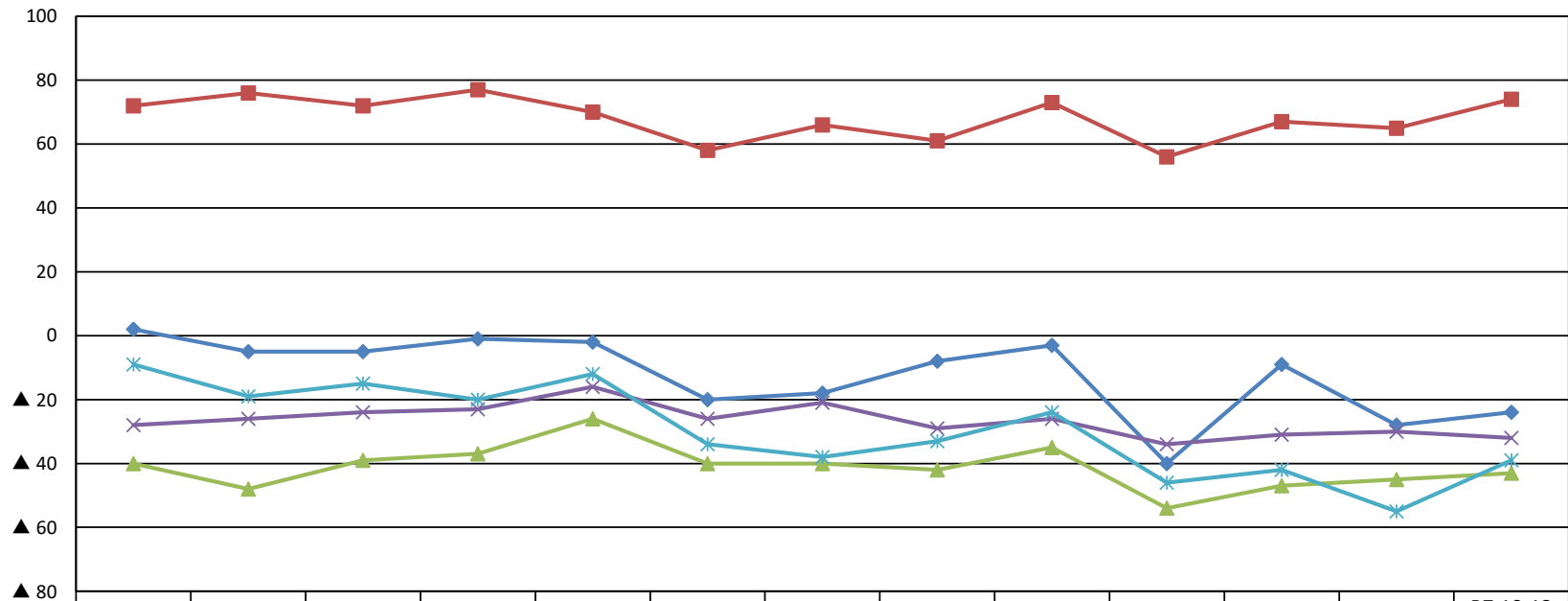
24	原油価格の高騰、トラックの値段上昇、賃金上昇（サービス業・日高）
25	清酒、甘酒など引き続き原材料の米の価格の不安定さ先行き不透明感がある。（製造業・出石）
26	以前のように仕入れ業者が揃って値上げするわけではなく各社少しずつ時期をずらして…みたいな感じのため自社製品への転嫁ができない（製造業・出石）
27	原材料の価格上昇に加え10月から最低賃金の上昇と何かと原価が上がる中、売価は上げてはもらっているが、追いついていない状況です。（製造業・出石）
28	物価高騰、最低賃金上昇でダブルパンチ。（飲食業・出石）
29	仕入単価の高騰、暑さによる品質の低下、光熱費の上昇等により上向きの景気とは言いづらい。また、最低賃金の上昇により人材不足ではありながら、雇用負担を考えると雇えない。社会保険料も重くのしかかる。出石は映画「国宝」の効果により、万博で減少した分を補っており、微増していると思う。価格改定等を行って利益確保を考えていく。（飲食業・出石）
30	仕入、光熱費の高騰（サービス業・出石）
31	商品の仕入れ単価が、常に上向きに変動 販売価格の設定に苦慮している（小売業・但東）
32	前回同様、灯油やガソリン、水道光熱費などは影響大（サービス業・但東）

【9】自由コメント

1	今年の4月以降万博の影響か観光客が少なく夏休みに期待したが酷暑のせいか振るわないまま終わってしまった。万博の終了は10月末。カニの時期に期待するしかない。（飲食業・城崎）
2	最低賃金が改定されるが、いわゆる年収の壁が状況に応じ改正されないとさらなる人手不足が生じる。政府が平均1500円を目標にしているのであれば、毎年スピード感を持って改正されることを経済団体として都度提言していただきたいです。（飲食業・城崎）
3	7月、8月は、昨年より大きく観光客が減った、万博の影響か？ 酷暑の影響か？（小売業・城崎）
4	8,9月は万博にお客様がひっぱられている感じがします。10月以降は去年並みに数字がもどってきてます。利益がでるかどうかは別として（宿泊業・城崎）
5	材料や仕入れの設問だけでなく、賃上げについての項目も必要ではないでしょうか？政府の方針もあり最低賃金の上昇傾向も安定した経営を続けられるかに重要な要素だと思います。（製造業・日高）
6	分野によるが、製品の安定した供給ができるかが今後危惧される。（小売業・日高）
7	食材、特にコメの値上げ幅、また光熱費関係とが影響大で価格をあげるかもしくは質をさげるかしないと維持できません。さらには人件費の高騰と休日とで厳しいかぎり。（宿泊業・日高）
8	企業に対して賃金を上げろと政府は言うが、その分公共事業を安定的に発注してほしい。社会保険料が高すぎる。20年前に戻してほしい。会社にも負担があるし、給与を受取る側にも影響がでます。税金で賄って欲しいです。（サービス業・日高）
9	景気なのか、万博なのか…観光客が少ないように思う（製造業・出石）
10	本年は大阪万博の影響(京阪神のお客さんは軒並み万博へ)で観光業は苦しい時期であった。同時に業務用エアコンの買い換えが重なり何か良い補助金はないか商工会にも探していただいたが、合致する補助金が無かった。（飲食業・出石）

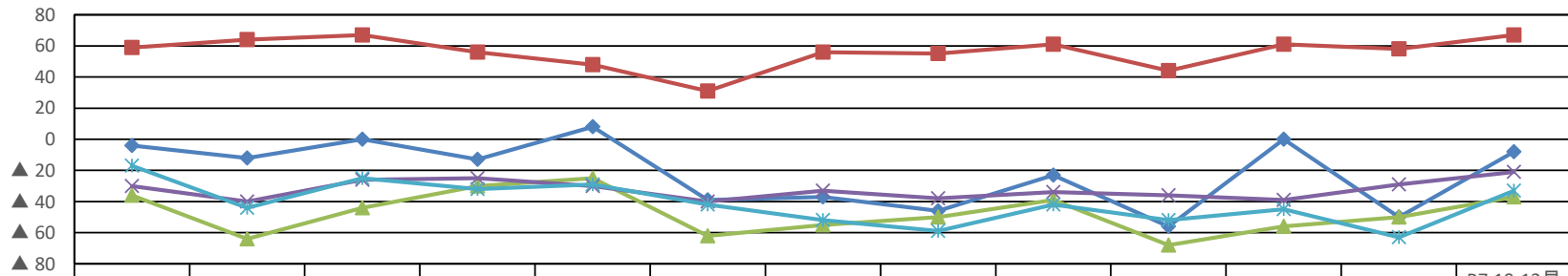
豊岡市商工会管内における3年間の景気動向調査結果

全業種DI推移



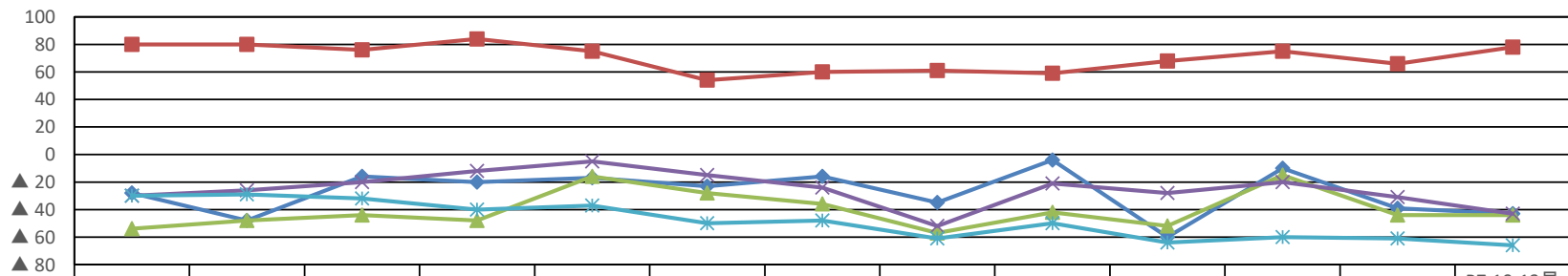
	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	R6.7-9	R6.10-12	R7.1-3	R7.4-6	R7.7-9	R7.10-12 見込み
売上高	2	▲ 5	▲ 5	▲ 1	▲ 2	▲ 20	▲ 18	▲ 8	▲ 3	▲ 40	▲ 9	▲ 28	▲ 24
仕入単価	72	76	72	77	70	58	66	61	73	56	67	65	74
採算性	▲ 40	▲ 48	▲ 39	▲ 37	▲ 26	▲ 40	▲ 40	▲ 42	▲ 35	▲ 54	▲ 47	▲ 45	▲ 43
資金繰り	▲ 28	▲ 26	▲ 24	▲ 23	▲ 16	▲ 26	▲ 21	▲ 29	▲ 26	▲ 34	▲ 31	▲ 30	▲ 32
景況感	▲ 9	▲ 19	▲ 15	▲ 20	▲ 12	▲ 34	▲ 38	▲ 33	▲ 24	▲ 46	▲ 42	▲ 55	▲ 39

製造業DI推移



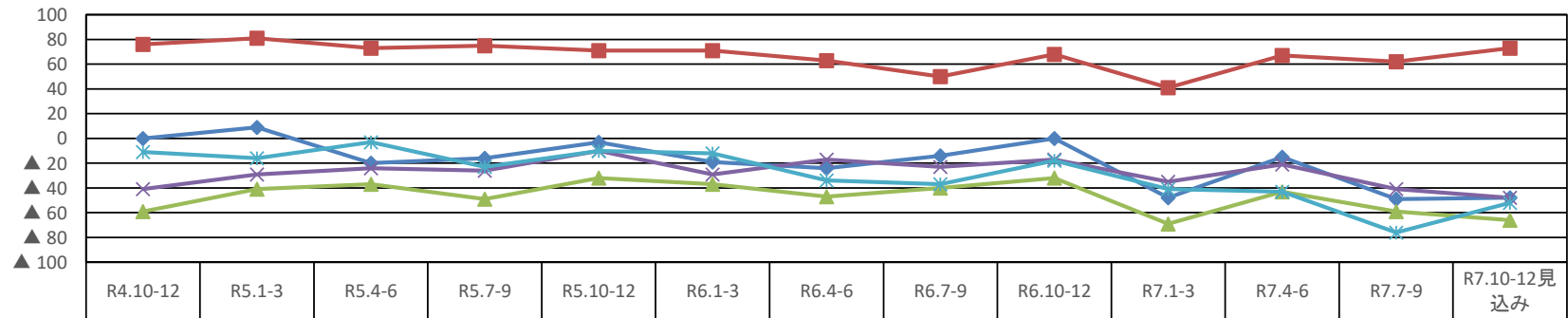
	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	R6.7-9	R6.10-12	R7.1-3	R7.4-6	R7.7-9	R7.10-12見込み
● 売上高	▲ 4	▲ 12	0	▲ 13	8	-39	-37	▲ 46	▲ 23	▲ 56	0	▲ 50	▲ 8
■ 仕入単価	59	64	67	56	48	31	56	55	61	44	61	58	67
▲ 採算性	▲ 36	▲ 64	▲ 44	▲ 30	▲ 25	▲ 62	▲ 55	▲ 50	▲ 39	▲ 68	▲ 56	▲ 50	▲ 37
✕ 資金繰り	▲ 30	▲ 40	▲ 26	▲ 25	▲ 30	▲ 40	▲ 33	▲ 38	▲ 34	▲ 36	▲ 39	▲ 29	▲ 21
✧ 景況感	▲ 17	▲ 44	▲ 25	▲ 32	▲ 29	▲ 42	▲ 52	▲ 59	▲ 42	▲ 52	▲ 45	▲ 63	▲ 33

建設業DI推移



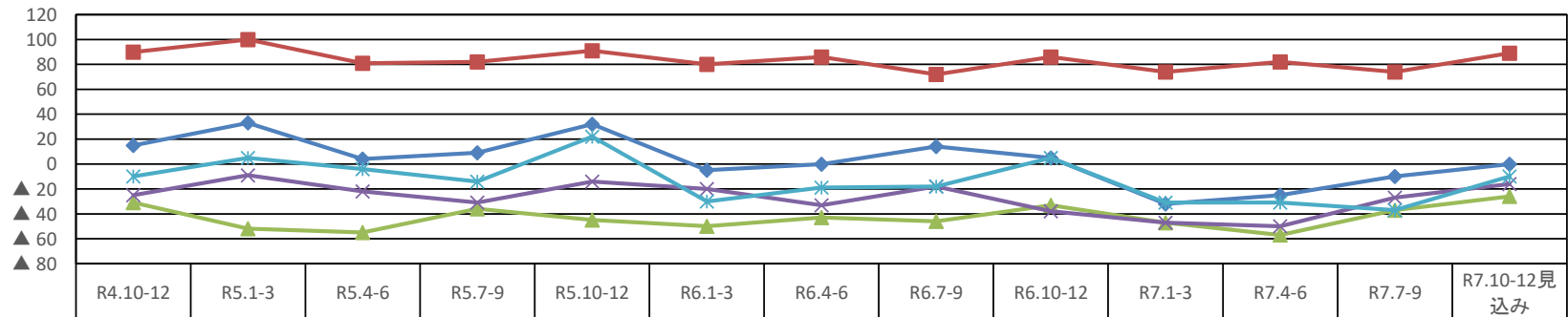
	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	R6.7-9	R6.10-12	R7.1-3	R7.4-6	R7.7-9	R7.10-12見込み
● 売上高	▲ 28	▲ 48	▲ 16	▲ 20	▲ 17	▲ 23	▲ 16	▲ 35	▲ 4	▲ 60	▲ 10	▲ 39	▲ 43
■ 仕入単価	80	80	76	84	75	54	60	61	59	68	75	66	78
▲ 採算性	▲ 54	▲ 48	▲ 44	▲ 48	▲ 16	▲ 28	▲ 36	▲ 57	▲ 42	▲ 52	▲ 15	▲ 44	▲ 44
✕ 資金繰り	▲ 30	▲ 26	▲ 20	▲ 12	▲ 5	▲ 15	▲ 24	▲ 52	▲ 21	▲ 28	▲ 20	▲ 31	▲ 43
✧ 景況感	▲ 30	▲ 29	▲ 32	▲ 40	▲ 37	▲ 50	▲ 48	▲ 61	▲ 50	▲ 64	▲ 60	▲ 61	▲ 66

小売業DI推移



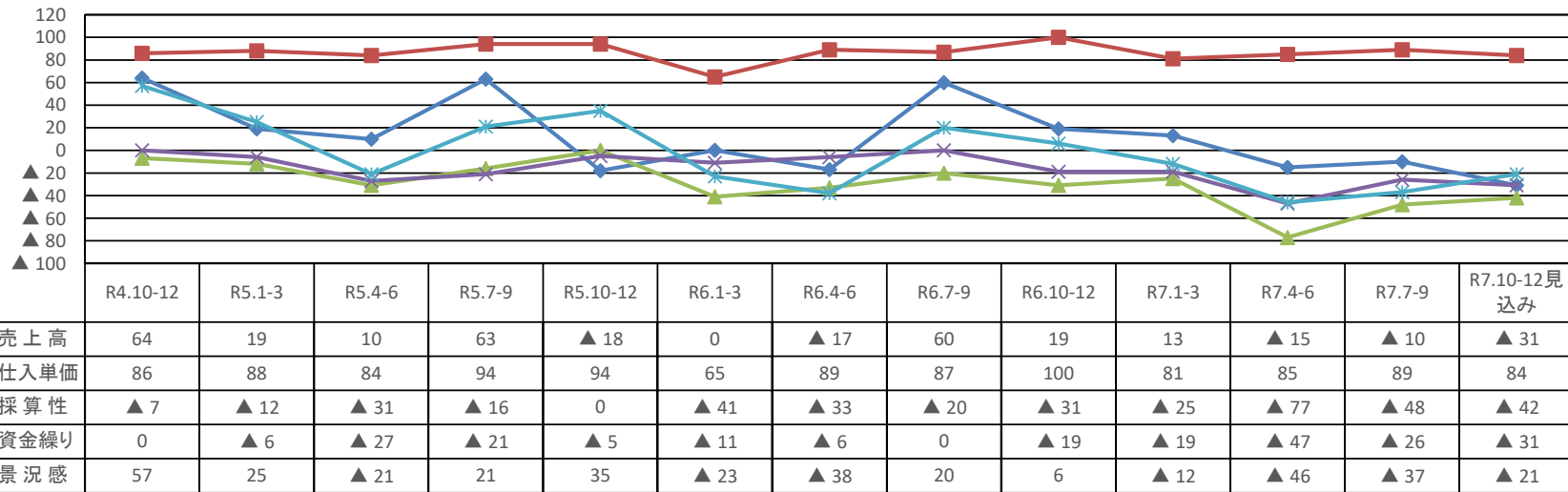
	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	R6.7-9	R6.10-12	R7.1-3	R7.4-6	R7.7-9	R7.10-12見込み
売上高	0	9	▲ 20	▲ 16	▲ 3	▲ 19	▲ 24	▲ 14	0	▲ 48	▲ 15	▲ 49	▲ 48
仕入単価	76	81	73	75	71	71	63	50	68	41	67	62	73
採算性	▲ 59	▲ 41	▲ 37	▲ 49	▲ 32	▲ 37	▲ 47	▲ 40	▲ 32	▲ 69	▲ 43	▲ 59	▲ 66
資金繰り	▲ 41	▲ 29	▲ 24	▲ 26	▲ 10	▲ 29	▲ 17	▲ 23	▲ 17	▲ 35	▲ 21	▲ 41	▲ 48
景況感	▲ 11	▲ 16	▲ 3	▲ 23	▲ 10	▲ 12	▲ 34	▲ 37	▲ 18	▲ 41	▲ 43	▲ 76	▲ 52

飲食業DI推移



	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	R6.7-9	R6.10-12	R7.1-3	R7.4-6	R7.7-9	R7.10-12見込み
売上高	15	33	4	9	32	▲ 5	0	14	5	▲ 32	▲ 25	▲ 10	0
仕入単価	90	100	81	82	91	80	86	72	86	74	82	74	89
採算性	▲ 31	▲ 52	▲ 55	▲ 36	▲ 45	▲ 50	▲ 43	▲ 46	▲ 33	▲ 47	▲ 57	▲ 37	▲ 26
資金繰り	▲ 25	▲ 9	▲ 22	▲ 31	▲ 14	▲ 20	▲ 33	▲ 18	▲ 38	▲ 47	▲ 50	▲ 27	▲ 16
景況感	▲ 10	5	▲ 4	▲ 14	22	▲ 30	▲ 19	▲ 18	5	▲ 31	▲ 31	▲ 37	▲ 10

宿泊業DI推移



サービス業DI推移

